

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

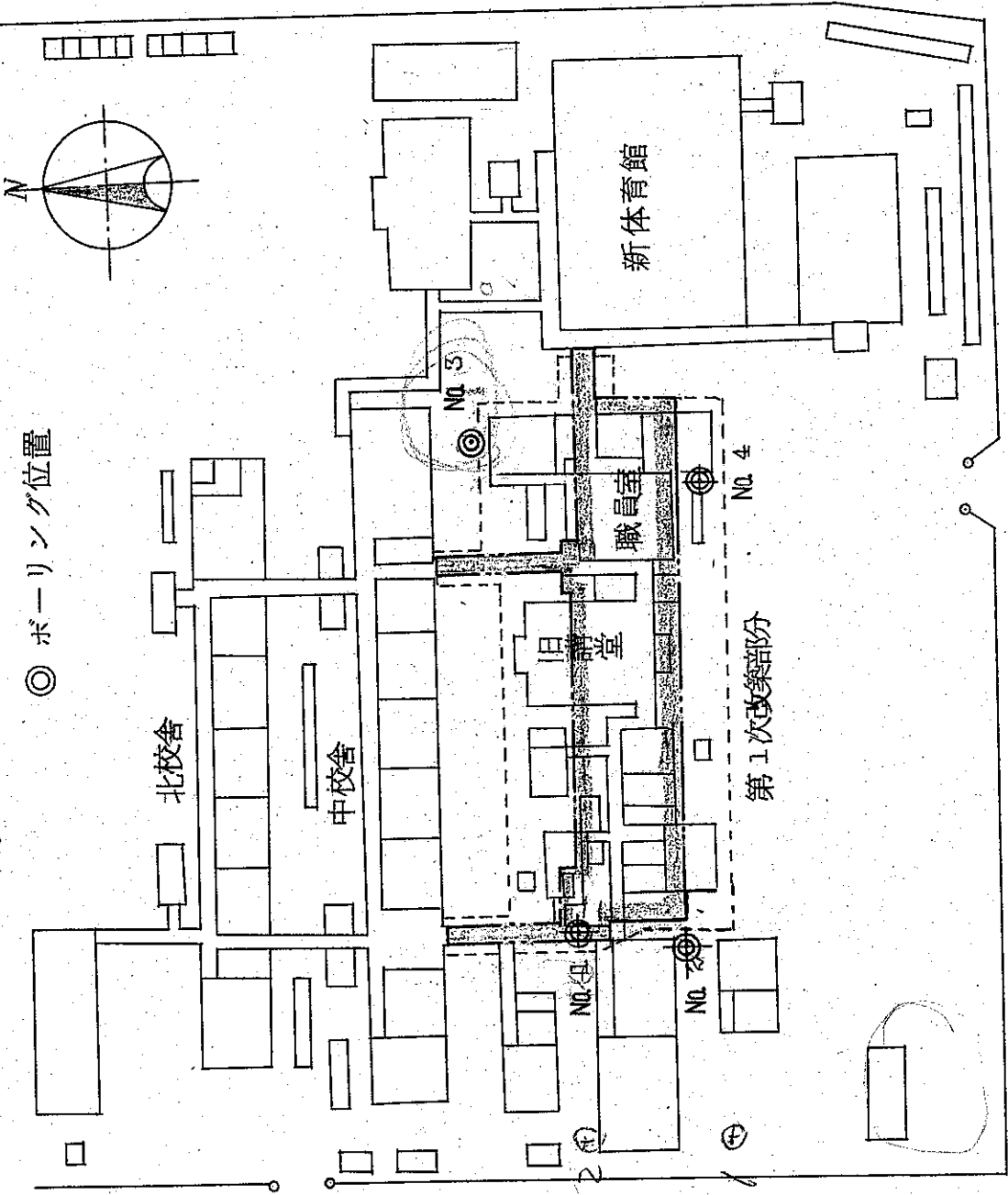
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

県立佐野高等学校敷地地質調査位置図 S=1:1000

◎ ボーリング位置



ボーリング柱状図

調査名 県立佐野高校地質調査 孔番 No. NO.2 地盤高 _____ m
 調査場所 佐野市天神町地先 (基準面 現地表面下)
 地 形 _____ 摘 要 _____
 調査期間 昭和51年1月 日 ~ 月 日 D-1
 地下(孔内)水位 GL-4.10m 調査担当者 _____

標地下水 高位 (m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土 質 記 号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料		原 位 試 験 深 度 (m)	標 準 貫 入 試 験							
					色	相 对 密 度		番 号	記 号		採 取 深 度 (m)	試 験 深 度 (m)	打 撃 回 数					
											0	10	20	30	40	50	60	70
0				盛 土	茶 灰		ローム土, 礫介在											
1	0.90	0.90		盛 土	茶 灰		ローム土, 礫介在											
2	1.50	0.60		ローム	茶 褐		腐植物混入, 粘性強	1	1.1.1	1.15 1.45	3							
3	2.60	1.10		粘 土	茶 灰		腐植物混入, 粘性強	2	1.1	2.15	2							
4	3.50	0.90		礫混り 砂質粘土	茶 灰		粘土。砂互層 状	3	2.2.3	3.15 3.45	7							
5							全体的に粘土 質。 礫径10%~30% 位で6m附近 に砂分混入多 い。 粘土分の多い 所あり。	4	19.31	4.15 4.35	50 20							
6							茶 褐 色	5	13.14.12	5.15 5.45	39							
7								6	2.1.2	6.15 6.45	5							
8								7	9.9.9	7.15 7.45	27							
9								8	50 7	8.15 8.22	50 7							
10								9	12.14.12	9.15 9.45	38							
11							10m50附近よ 礫混入多量。	10	12.16.15	10.15 10.45	43							
12	12.45			砂 礫				11	21.29 12	11.15 11.37	50 22							
								12	14.14.18	12.15 12.45	46							

